
MOTHERLY NETWORK NEWS

マザリー・ネットワーク・ニュース



認定特定非営利活動法人 環わの会 機関誌 第33号
2025年 4月 1日 発行

環の会 代表理事 星野 寛美

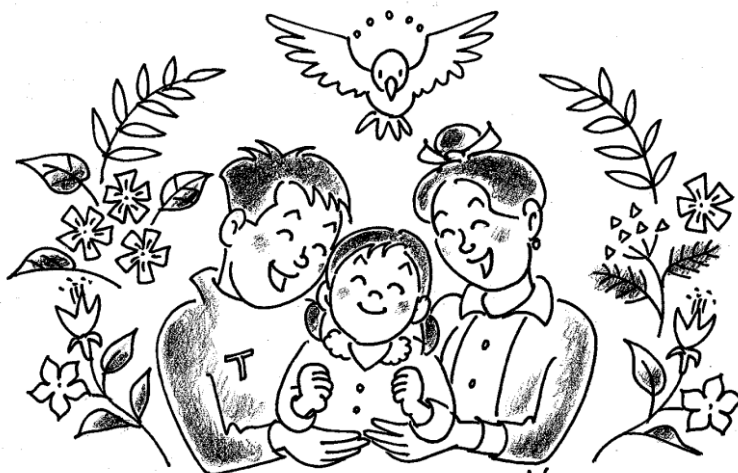
「みんなで環の会、みんなが環の会」を合言葉に続けてきた環の会の活動も、34年目に入りました。右も左も分からず、先輩方のご指導を仰ぎながら模索を続けた日々、いよいよ軌道に乗り、24時間体制で電話相談に応じ、前代表が全国を走り回っていた日々を思い返すと、現在行っている、無料通信アプリによる相談、オンラインと会場とを併用したハイブリッドでのミーティング、クラウドでの情報管理、といった取り組みとの違いに、隔世の感があります。

少子化が急速に進んだ現在、子育てには、さまざまなサポートを受けられるようになってきました。育児休暇も、多くの男性が取得するようになり、育て親家族をサポートする体制も、充実してきています。多くの子どもたちが、早い時期から療育を受けられるようになっていきます。

環の会の家族も、さまざまなサポートを受けられるようになり、また、Youth（特別養子縁組によって新しい家庭で育ち、成人した方々）が、環の会内外で情報発信をする機会を頂き、環の会の「輪」が更に広がりつつあります。

環の会のイベントで、懇親会に出席した里親支援の方から、「何だか、親戚が集まったみたいな雰囲気ですね」と言われました。Youthの方々は、自分自身が、もしかしたら、環の会の他の家庭に迎えられていたのかもしれないことも知っています。そのような意味でも、大きな親戚のようなネットワークになっています。

今後も、多くの方からお力添えいただきながら、妊娠・子育て相談、子どものための縁組支援に当たってまいります。よろしくお願い申し上げます。



藤田桃仙♡

[事業内容のご報告]

2024年度は、2024年1月1日より12月31日までの間に、以下のような事業を行いました。参考のため、前年度の内容も併記いたします。

#1 相談業務

2024年度相談総計357件の内、電話による相談は180件（50%）、Eメール・LINEによる相談は177件（50%）でした。
携帯電話で受信した電話・メールを除きます。

(単位：件)

	2024年度		2023年度	
	① 電話	② Eメール・LINE	① 電話	② Eメール・LINE
子どもに親を希望	23 (0)	37 (0)	28 (0)	8 (0)
育て親希望	14 (0)	80 (0)	30 (0)	80 (1)
縁組について	57 (0)	17 (3)	173 (0)	39 (4)
* その他	86 (0)	43 (0)	123 (0)	55 (0)
計	180 (0)	177 (3)	354 (0)	182 (5)
合計 (①+②)	357 (3)		536 (5)	

・ () 内は、海外・外国籍の方からの相談件数です。各項目の件数に含みます。

* 2024年度、その他の相談内容：

成人の養子縁組希望・里親探しの相談、養子当事者からの相談、妊娠・中絶の相談、産みの親の情報が知りたい・会いたい、普通養子縁組の相談、取材依頼（新聞、テレビ）、Youthへの講演依頼、卒論・研究協力依頼、ボランティア志望。

* 2023年度、その他の相談内容：

妊娠・中絶の相談、産みの親の情報が知りたい、他団体から迎えたお子さんの相談、普通養子縁組の相談、特別養子縁組に携わる仕事に関する質問、第三者評価報告書閲覧の希望、取材依頼（新聞、テレビ）、研究協力依頼、ボランティア志望。

#2 育て親希望者に対しての 説明会および夫婦面談

1. 「子どもとの縁組」についての説明会

子どもの育て親になることを希望するご夫婦に対しての説明会を、オンライン1回、川崎2回、山口1回、仙台1回、京都1回、計6回、各地域のMNメンバー(育て親)とYouth(縁組により環の会の家庭で育った子どもたち)の方々の協力で行いました。

<オンライン>

第1回 4月 21日

<川崎>

第1回 2月 4日 第2回 7月 28日

<山口>

第1回 6月 24日

<仙台>

第1回 10月 20日

<京都>

第1回 11月 10日

なお、説明会にご参加くださったご夫婦は、合計**21組**でした。

(2023年度には、説明会を6回行い、参加夫婦数は合計29組でした。)

2. 育て親登録を希望される夫婦の面談およびその後の状況

(単位：組)

	2024年度	2023年度
面談	21	23
育て親登録	1	6
子ども養育中 (2人目以降として迎えた夫婦も含む)	4	8

#3 育て親希望者研修会

4組のご夫婦を対象に、以下のような内容で研修を行いました。

座学：①生育歴の振り返り、夫婦間のコミュニケーション、産みの親の背景理解等
②「養子」の捉え方、育て親による経験談等
③講師による講義及び質疑応答

養育実習（3日間）：当会の育て親家族による子育て実習、乳児院での実習

① ②の日程は、下記の通り。

第1回： 2月 3日、10日

第2回：10月 6日、13日、20日

座学①②および養育実習において、MNメンバーの方々のご尽力を頂きました。

#4 子どもとの縁組

2024年1月1日から12月31日までの間に、特別養子縁組が確定した方は8組でした。なお、この期間に、7組の方が特別養子縁組の申立をしました。当会発足以来、特別養子縁組 422組と普通養子縁組8組が成立しました。

(単位：組)

	2024年度	2023年度
特別養子縁組申立済 (前年までに申し立てた方を含む)	7	6
特別養子縁組確定	8	3

5 シンポジウム

2024年度も、MNメンバーの方々のご尽力により、オンラインを用いたハイブリッドにて、シンポジウムを開催しました。

過去のシンポジウムの内容は、報告書としてまとめています。実費で配布していますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

テーマ	日程
第51回 シンポジウム 各年代ごとの「テリング (Tell+ing) 」	3月16日
シンポジスト： 環の会で子どもを迎えた育て親（3組）	
会 場： 川崎市産業振興会館（神奈川県川崎市）	

6 育て親家庭のサポート

○相談対応

個々の相談に応じると共に、下記日程で意見交換会を開催しました。

・9月25日 子育て意見交換会

上記の他、有志のMNメンバーにより、意見交換会、交流会が開催されました。

7 Youthの会 活動

Youthの会は、縁組により環の会の家庭で育った子どもの方々が主体となって、環の会に対して、そしてゆくゆくは社会に向けて声を上げていこう、ということを目的に、2022年1月に立ち上げられました。

下記の3つの内容に取り組んでいます。

- ① Youth 同士の交流
- ② 育て親の方々との交流
- ③ これから子どもを迎えることを希望している方々との交流

環の会を通じて新しい家庭に迎えられた子どもは、全て「Youth」ではありませんが、何らかのイベントに参加したことのある高校生以上の方を「Youthの会」のメンバーとしています。

各種交流イベントについては、育て親の方々にもご参加いただいています。

1. 交流イベント

○対面イベント

5月 4日	千葉 (スポーツイベント BBQ)
8月 3日	福岡 (育て親との意見交換会)
11月 9日	京都 (ゲームなどによる交流会)

○オンラインイベント (zoom使用) おしゃべり会

1月16日、2月21日、6月19日

○総会 3月17日

○執行部会議 1月16日、2月21日、3月25日、4月16日、 5月29日、7月3日、8月28日、10月3日、 12月11日

2. 講演、広報

- 1月20日 香川県子ども女性相談センター 講演
- 6月17日 里親センターひこばえ 講演
- 6月29日 Baby ぽけっと 講演

3. 「Youth の会」活動報告「大きくなったよ」発行

Vol. 9～Vol. 12

8 他 組 織 と の 連 携

1. 所属団体

現在、以下の7団体に会員として所属し、他組織との連携を図っています。

<医療関係>

- ・ 日本母性衛生学会
- ・ 日本生殖医学会
- ・ 日本医療社会福祉学会
- ・ 公益社団法人日本医療社会福祉協会

<児童福祉関係>

- ・ 養子と里親を考える会
- ・ 全国児童養護問題研究会
- ・ 全国児童相談研究会

2. 開催あるいは出席した主な会議・研究会など

○連携会議

- ・ 12月 4日 養子縁組関係機関連携会議（主催）

○意見交換会、研究会等（講演・報告）

- ・ 2月24日 おきなわ子ども未来ネットワーク
「テリング」について
- ・ 10月10日 市民とNPOの交流サロン 新宿NPOネットワーク協議会
- ・ 11月 7日 町田市民病院 虐待防止講演会

○意見交換会、研究会等（参加、傍聴）

- ・ 2月17日 こども家庭庁助成事業 フォーラム
- ・ 2月24日 養子と里親を考える会
- ・ 3月8～10日 FLEC フォーラム
- ・ 3月28日 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」及び超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」合同総会
- ・ 4月7日 白井千晶 勉強会
- ・ 4月20日 エレパニ山口勉強会
- ・ 4月23日 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」及び超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」合同総会
- ・ 5月11日 エレパニ山口勉強会
- ・ 5月23日 児童養護議連&虐待から子どもを守る議員の会、合同総会
- ・ 6月8日 養子と里親を考える会 研究会
- ・ 6月11日 東京都意見交換会
- ・ 6月15日 エレパニ山口勉強会
- ・ 6月18日 子ども家庭庁意見交換会
- ・ 9月8日 養子縁組あっせん機関責任者研修
- ・ 9月10日 養子縁組あっせん機関等 交流促進研修 こども家庭庁
- ・ 10月12日 エレパニ山口勉強会
- ・ 10月22日 エレパニ山口勉強会
- ・ 10月25日 養子縁組あっせん機関等 交流促進研修 こども家庭庁
- ・ 12月7日 エレパニ山口勉強会
- ・ 12月7日 こども家庭庁助成事業 プチフォーラム

○事例検討会

- ・ 1月18日、5月10日、9月12日、12月12日 NPO 法人ハピネスト主催

#9 会 員 数

(単位：人)

	2024年度	2023年度
賛助会員	0	0
正会員	374	379
計	374	379

今年も多くの方々に会員としてご支援いただき、当会の事業を展開することができました。

また、当会の活動に対しご寄付を賜りまして、ありがとうございました。
妊娠相談を中心に、当会の運営のために使うことができましたことをご報告し、
厚く御礼申し上げます。

賛助会員は、年3,000円以上の会費により、支えてくださる方です。お申し込みをお待ちしています。

#10 広報活動

1. 書籍等

- 書籍『家族が産まれる～物語で紡ぐ特別養子縁組の記録～』 7月31日
- 冊子『環の会のテリングってどんなもの? Vol.2』 3月25日

2. 新聞等掲載

- 朝日新聞 インタビュー記事（3月19日）
YouTube掲載（3月28日）
- 毎日新聞 山口説明会記事（6月7日）
- 毎日新聞 Youth記事掲載（11月22日夕刊）

当会および特別養子縁組について、紹介の機会をくださいましたご担当の方々および取材に応じて下さったYouth並びにMNメンバー、そして関係者の方々に、心より御礼申し上げます。

なお、上記の他、テレビ局、各種研究者などからの取材並びに調査協力依頼があり、対応しました。調査依頼にご協力くださった関係者の方々にも、御礼申し上げます。

3. ホームページ等

ホームページ アドレス <http://www.wa-no-kai.jp>
メールアドレス wa@wa-no-kai.jp



2024年度のページビュー数は30,890件、新規ユーザーは、7,767人でした。

さまざまな分野の方々からご相談およびお問い合わせをいただきました。

ホームページの他に、下記SNSにより、情報を発信しました。

https://twitter.com/wanokai_
<https://www.facebook.com/wanokai.engumi/>
https://note.com/wanokai_telling
<https://ameblo.jp/wa-no-kai>



X(Twitter)



Facebook



note



ameblo

引き続き、ホームページ等を活用して広報に努めるとともに、子どもたちと環の会の成長を見守っていただけるように、内容の充実を図っていきます。

4. その他

当会設立以来、模索している子どものための「子どもとの縁組」のイメージが広く理解されるように、使用する用語に心配りをして、新しい縁組のイメージの定着を図っています。

社会一般に使用している用語は、法律用語です。当会は実態に即した用語として、以下のように変えて使っています。

- ・養子縁組 → 「子どもとの縁組」
- ・養子 → 「子ども」
- ・実母/実親 → 「産みの親」
- ・養父母/養親 → 「育て親」
- ・真実告知 → 「テリング (tell+ing)」
(真実告知の翻訳としてのテリングとは異なる)
- ・養子をとる、もらう (子どもを得る、もつ)
→ 「子どもを迎える」

#11 養子縁組民間あっせん機関助成事業

平成30年度より「養子縁組民間あっせん機関助成事業」が開始され、毎年度、環の会は、厚生労働省および子ども家庭庁より「養子縁組民間あっせん機関支援体制構築等モデル事業」について事業申請が採択され、取り組んでいます。

令和5年度（実施期間：令和5年4月～令和6年3月）および6年度（実施期間：令和6年4月～令和7年3月）についても、取り組みました。

事業項目は下記の通りで、それぞれ当会の各種事業にて、取り組みました。

(1) 養子縁組民間あっせん機関体制整備支援事業

(ア) 養親希望者等支援事業

- ① 児童相談所や市区町村、産科医療機関等の関係機関との連携体制の構築（定期的な関係機関連携会議の開催）
- ② 子どもや実父母、養親に対して、関係機関と連携した支援
- ③ 養子縁組の成立後に、子どもの実父母や養親子に対して、必要な情報提供や相談等の支援
- ④ 養子縁組前養育に円滑に繋げるための、子どもとの事前のマッチング
- ⑤ 養親同士が気軽に集まる場を提供し、悩みの共有や意見交換等の自助グループ活動の育成支援
- ⑥ 遠隔地の養親子に対する児童相談所や市区町村、他の民間あっせん機関と連携した成立後支援
- ⑦ その他、養親希望者等の負担軽減に向けた取組

(イ) 特定妊婦等への支援

(ウ) 障害児等の支援

(2) 養子縁組民間あっせん機関支援体制構築等モデル事業

(ア) 高年齢児等への支援体制構築モデル事業

(イ) 資質向上モデル事業

(ウ) 子どもの出自を知る権利に関する支援体制整備モデル事業

令和6年度 活動計算書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

特定非営利活動法人 環の会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	1,880,000	
賛助会員受取会費	0	1,880,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	938,300	938,300
3 受取助成金等	17,197,000	17,197,000
4 事業収益		
事業収益 養子縁組負担金収入	4,180,000	
事業収益 登録料収入	132,000	
事業収益 研修会収入	457,500	4,769,500
5 その他収益		
雑収入	137,000	
受取利息	2,730	139,730
経常収益計		24,924,530
II 経常費用		
1 事業費(助成金)		
(1) 人件費		
給料手当	7,176,132	
人件費計	7,176,132	
(2) その他経費		
会場費	499,732	
消耗品費	100,270	
旅費交通費	6,302,273	
リース料(パソコン関係)	991,320	
水道光熱費	0	
通信費	1,349,247	
保険料	21,650	
研修費	160,552	
雑費	405,219	
印刷製本費	1,994,966	
諸謝金	828,700	
療育費(モデル事業)	1,000,770	
コロナ感染対策費	1,870	
支払手数料	259,871	
諸会費	28,000	
法定福利費	1,076,325	
租税公課	14,750	
その他経費計	15,035,515	
事業費計		22,211,647
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	655,151	
人件費計	655,151	
(2) その他経費		
消耗品費	258,623	
水道光熱費	115,014	
地代家賃	1,368,000	
旅費交通費	136,603	
通信費	39,597	
会議費	50,706	
印刷製本費	88,825	
諸謝金	328,900	
支払手数料	14,870	
諸会費	15,375	
保険料	57,616	
雑費	32,364	
租税公課	1,750	
法定福利費	93,594	
減価償却費	3,388	
その他経費計	2,605,225	
管理費計		3,260,376
経常費用計		25,472,023
当期経常増減額		▲ 547,493
III 経常外収益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
雑損失		2,955
経常外費用計		2,955
当期正味財産増減額		▲ 550,448
前期繰越正味財産額		27,078,731
次期繰越正味財産額		26,528,283

令和6年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	養子縁組 1-3月	相談事業 1-3月	助成金養子	助成相談	事業部門計	管理部門 1-12月	合計
I 経常収益							
1. 受取会費						1,880,000	1,880,000
2. 受取寄附金	62,000		876,300		938,300		938,300
3. 受取助成金等	17,197,000				17,197,000		17,197,000
4. 事業収益	1,241,500		3,528,000		4,769,500		4,769,500
5. その他収益						139,730	139,730
経常収益計	18,500,500		4,404,300		22,904,800	2,019,730	24,924,530
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	1,811,442		5,364,690		7,176,132	655,151	7,831,283
人件費計	1,811,442		5,364,690		7,176,132	655,151	7,831,283
(2) その他経費							
会場費	125,928		373,804		499,732	50,706	550,438
旅費交通費	1,656,099		4,646,174		6,302,273	136,603	6,438,876
消耗品費	13,300		86,970		100,270	258,623	358,893
水道光熱費					0	115,014	115,014
通信費	289,898	26,290	980,553	52,506	1,349,247	39,597	1,388,844
地代家賃					0	1,368,000	1,368,000
研修費	0		160,552		160,552		160,552
保険料	2,900		18,750		21,650	57,616	79,266
諸謝金	150,000		678,700		828,700	328,900	1,157,600
支払手数料	245,977		13,894		259,871	14,870	274,741
諸会費	14,000		14,000		28,000	15,375	43,375
リース料(パソコン)	244,860		746,460		991,320		991,320
雑費	124,497		280,722		405,219	32,364	437,583
療育費	849,030		151,740		1,000,770		1,000,770
減価償却費					0	3,388	3,388
印刷製本費	1,153,214		841,752		1,994,966	88,825	2,083,791
コロナ感染対策費	1,870				1,870		1,870
法定福利費			1,076,325		1,076,325	93,594	1,169,919
租税公課			14,750		14,750	1,750	16,500
その他経費計	4,871,573	26,290	10,085,146	52,506	15,035,515	2,605,225	17,640,740
経常費用計	6,683,015	26,290	15,449,836	52,506	22,211,647	3,260,376	25,472,023
計上外費用						2,955	2,955
当期経常増減額	11,817,485	△ 26,290	△ 11,045,536	△ 52,506	693,153	△ 1,243,601	△ 550,448
キッズ積立取崩し			950,000		△ 950,000		

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産					
無形固定資産					
投資その他の資産					
敷金	432,000				432,000
商標権	29,645		3,388		26,257
キッズ支援積立金					
定期預金	9,522,095	77	950,000		8,572,172
合計	9,983,740	77	953,388		9,030,429

4. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費は従事割合に基づき按分しています。

令和6年度 貸借対照表

令和6年12月31日現在

特定非営利活動法人 環の会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,054,417		
未収入金	0		
貯蔵品	28,500		
立替金	0		
仮払金	19,655		
流動資産合計		18,102,572	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
敷金	432,000		
商標権	26,257		
キッズ支援積立預金 定期預金	8,572,172		
投資その他の資産計			
固定資産合計		9,030,429	
資産合計			27,133,001
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	398,437		
前受金	40,000		
預り金	166,281		
流動負債合計		604,718	
2 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計			604,718
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		27,078,731	
当期正味財産増減額		△ 550,448	
正味財産合計			26,528,283
負債及び正味財産合計			27,133,001

令和6年度 財産目録

令和6年12月31日現在

特定非営利活動法人 環の会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	52,645	
三菱UFJ銀行普通預金	276,530	
三井住友銀行普通預金	15,527,174	
郵貯銀行普通預金	1,152,043	
郵貯振替口座	1,046,025	
未収入金	0	
貯蔵品	28,500	
立替金	0	
仮払金	19,655	
流動資産合計		18,102,572
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産計		
敷金	432,000	
商標権	26,257	
キッズ支援積立預金		
定期預金	8,572,172	
投資その他の資産計	9,030,429	
固定資産合計		9,030,429
資産合計		27,133,001
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	398,437	
前受金	40,000	
預り金	166,281	
流動負債合計		604,718
2 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		604,718
正味財産		26,528,283

監査報告書

令和7年2月8日

特定非営利活動法人 環の会
代表理事 星野 寛美 様

監事 佐藤 大介 

私は、特定非営利活動促進法 18 条の規定並びに特定非営利活動法人 環の会の定款に従い、下記の通り監査を実施したことを報告する。


1. 対象事業期間
令和6年度（令和6年1月1日～12月31日）の会計監査
2. 会計監査を行った日時と場所
令和6年9月16日（月）14：30～
令和7年2月8日（土）13：00～
特定非営利活動法人 環の会 事務局にて
3. 監査内容
代表理事へ活動状況の聞き取りを行った。また、現金残高、帳簿、通帳、領収証等の点検によって会計状況を確認した。
4. 監査結果
令和6年度について、会計報告は、本会の財産の状況を正しく示しているものと認める。

以上

監 査 報 告 書

令和7年2月8日

特定非営利活動法人 環の会
代表理事 星野 寛美 様

監事 佐藤 大介 

私は、特定非営利活動促進法 18 条の規定並びに特定非営利活動法人 環の会の定款に従い、特定非営利活動法人 環の会の令和6年度（令和6年1月1日～12月31日）の業務監査を実施したことを報告する。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事長との面談を行い、調査をした上で、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。

この監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行されているものと認められた。

ここに、私は、上記期間に係る事業報告が、同法人の業務執行の状況を示しているものと認める。

監事が理事会等に出席した日

令和6年9月26日（月）

業務監査を行った日時と場所

令和7年2月8日（土）13：00～14：00 環の会事務局にて

以上

令和7年度 予算書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

特定非営利活動法人 環の会

(単位：円)

科 目	令和7年度予算	令和6年度決算
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	1,880,000	1,880,000
賛助会員受取会費	30,000	0
	1,910,000	1,880,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	1,000,000	938,300
	1,000,000	938,300
3 受取助成金等	20,000,000	17,197,000
	20,000,000	17,197,000
4 事業収益		
事業収益 養子縁組負担金収入	4,180,000	4,180,000
事業収益 登録料収入	132,000	132,000
事業収益 研修会収入	505,000	457,500
	4,817,000	4,769,500
5 その他収益		
雑収入	100,000	137,000
受取利息	3,000	2,730
	103,000	139,730
経常収益計	27,830,000	24,924,530
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	8,700,000	7,176,132
人件費計	8,700,000	7,176,132
(2)その他経費		
会場費	500,000	499,732
消耗品費	110,000	100,270
旅費交通費	6,500,000	6,302,273
リース料 (パソコン関係)	1,000,000	991,320
通信費	1,400,000	1,349,247
保険料	20,000	21,650
研修費	170,000	160,552
雑費	410,000	405,219
印刷製本費	2,000,000	1,994,966
諸謝金	850,000	828,700
療育費 (モデル事業)	1,100,000	1,000,770
補助金コロナ感染対策費	0	1,870
支払手数料	300,000	259,871
諸会費	30,000	28,000
法定福利費	1,100,000	1,076,325
租税公課	15,000	14,750
その他経費計	15,505,000	15,035,515
事業費計	24,205,000	22,211,647
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	0	0
給料手当	900,000	655,151
人件費計	900,000	655,151
(2)その他経費		
消耗品費	260,000	258,623
水道光熱費	120,000	115,014
地代家賃	1,368,000	1,368,000
旅費交通費	140,000	136,603
通信費	40,000	39,597
会議費	60,000	50,706
印刷製本費	90,000	88,825
諸謝金	330,000	328,900
支払手数料	15,000	14,870
諸会費	20,000	15,375
保険料	60,000	57,616
雑費	35,000	32,364
租税公課	2,000	1,750
法定福利費	100,000	93,594
減価償却費	3,388	3,388
予備費	81,612	
その他経費計	2,725,000	2,605,225
管理費計	3,625,000	3,260,376
経常費用計	27,830,000	25,472,023
当期経常増減額	0	▲ 547,493
III 経常外収益	0	0
経常外収益計	0	0
IV 経常外費用	0	
雑損失	0	2,955
経常外費用計	0	2,955
当期正味財産増減額	0	▲ 550,448
前期繰越正味財産額	26,528,283	27,078,731
次期繰越正味財産額	26,528,283	26,528,283

会員の皆様へ

< 会費納入のお願い >

2025年度も引き続きご支援を賜りますよう、会費の納入をよろしくお願ひいたします。なお、入会を希望される方は「入会申込書」による申し込みが必要です。

賛助会員とは、経済面で活動を支えてくださる方をいいます。多くの方に賛助会員として支えていただけますよう、お願ひいたします。

会費年額	正会員	5,000円
	賛助会員	3,000円以上

- 納入方法
- ① 郵便振替: 00140-5-559829
 - ② ゆうちょ銀行:
 - ・【記号】10140【番号】63843091
(ゆうちょ銀行からのお振込)
 - ・【店名】〇一八(ゼロイチハチ)普通【口座番号】6384309
(他金融機関からのお振込)
 - ③ 三井住友銀行: 目白支店 普通 6616743

◎ 会費の他、活動を支えるための支援金として、**寄付金**も受け付けております。多くの方々のお陰で、認定特定非営利活動法人として継続することができています。更に、認定を継続するために、引き続き1口3,000円でのご寄付をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

なお、3,000円未満のご寄付も受け付けておりますので、ご協力のほど、お願ひいたします。

当会は、認定特定非営利活動法人であるため、賛助会員の方の会費および寄付金につきましては、税制上の優遇対象となります。

◎ 会費等の領収書について

正会員会費につきましては、金融機関の振込用紙の控えを領収書とさせていただきます。賛助会員の方の会費および寄付金につきましては、領収書をお送りします。正会員会費に対して、当会発行の領収書が必要な場合は、事務局にご連絡をいただけますよう、お願ひします。

- ◎ 正会員および寄付をいただいた方々など、多くの方々のご協力に支えられ、2024年度の活動を行うことができました。心より御礼申し上げます。
2025年度も、引き続き皆様のご協力をいただき、子どもたちの未来を創るよき環境を模索しながら、活動を続けて参ります。
ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。





MOTHERLY NETWORK NEWS

マザリー・ネットワーク・ニュース

認定 NPO 法人 ^わ環の会 機関誌 第 33 号
2025 年 4 月 1 日 発行

認定特定非営利活動法人(認定 NPO) ^わ環の会 事務局

〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-23-13-502

TEL:03-3951-7270 FAX:03-3951-9495

E-mail: wa@wa-no-kai.jp

<http://www.wa-no-kai.jp>